

KAZ

KT-2500LF

低床型ジャッキ

2.5t

取扱説明書

- 用途 タイヤ・オイル交換
チェーンの着脱
軽整備作業などに

※ この度「2.5t低床型ジャッキ」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、また、大切に保管してください。

仕様

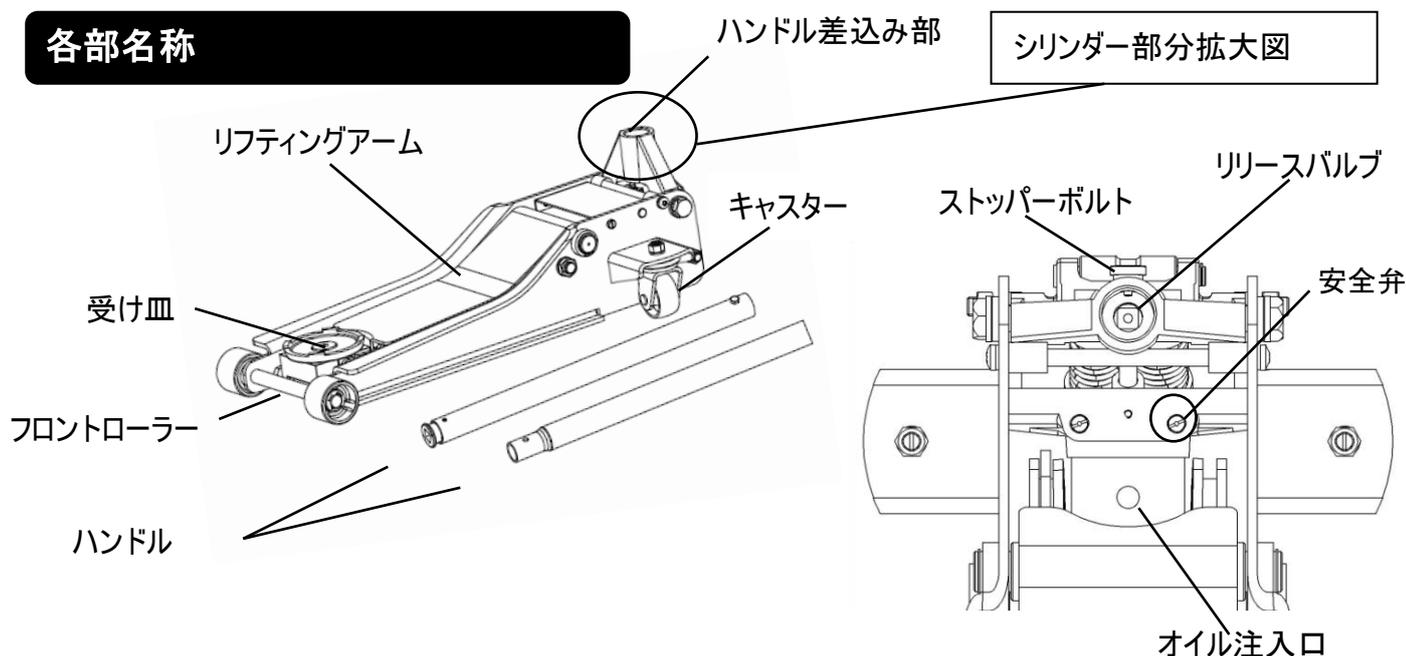
※改良により、予告なく仕様・外観が変更される場合があります。

- 型式:KT-2500LF
- 商品名:2.5t 低床型ジャッキ
- 最低位:80mm
- 最高位:508mm
- 最大荷重:2.5t
- 本体重量:約 34kg
- 本体サイズ:(約)全長 722×幅 328mm
胴高 150mm



- ◎ご使用の際は必ず車両の車高をご確認ください。
また、バンパーの形状によっては干渉する恐れがありますのでご注意ください。
- ◎一部車種によりタイヤが浮かない場合がありますので、ご了承ください。

各部名称



※安全弁は絶対に回さないでください。工場での出荷時、オーバー荷重を防ぐために調整されています。

安全上のご注意. 警告

- ご使用の前に、必ず、この取扱説明書を読み、正しくお使いください。
- 読み終わりましたが、この取扱説明書は大切に保管して頂き、使用中に分らなくなった時など、必要な都度、読み返してください。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく、安全にご使用いただくためのものです。
- 記載された ⚠ 注意は、これに従わなかった場合は、ケガを負う危険性のあることを示します。
 - ❗ 警告は、人命にかかわる事故や、物的損害発生の原因となる恐れが想定されるものです。
- これらの記号は、それぞれの取り扱い上における禁止事項、行為の指示事項、注意及び警告を表しています。

使用上の注意・警告

<p>❗ 警告</p>	<p>安全に正しくご使用いただくために、必ずお守りください。人命にかかわる事故や、物的損害発生の原因となります</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>安全に正しくご使用いただくために、必ずお守りください。</p>
<p>⚠ 注意</p>	<p>●ご使用の際は必ず車両の車高をご確認ください。また、バンパーの形状によっては干渉する恐れがありますのでご注意ください。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●本体の分解、改造は絶対にしないでください。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●ご使用の前に無負荷の状態でごジャッキアップをし、不具合がないか確認してください。不具合がありましたら、直ちにご使用を中止し、お買い求めの販売店または発売元までご連絡ください。ご使用中に不具合が発生した場合も、直ちにご連絡ください。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●車体 2.5 トン以上の荷重をかけて使用しないでください。ジャッキやジャッキスタンドが破損し、車両落下や、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●本製品は、水平で硬い地面で使用して下さい。柔らかい地面や、傾斜している場所では、設置面を傷つけたり、ジャッキが傾き、車両落下する可能性があり、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●ジャッキアップする車両のタイヤをまっすぐにし、ジャッキも車体に対してまっすぐに設置して下さい。ジャッキの向きが斜めの状態でジャッキアップすると、受け皿がジャッキポイントからずれて、車体落下する可能性があり、ジャッキや車両などの物的損害だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●必ず車両のエンジンを切り、ギアを「ロー」に(AT 車は「P」に)入れて下さい。またパーキングブレーキをかけ、車両が動かないよう、車輪止めをしてください。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●人の乗車が無い事を確実に確認し、ジャッキアップを行って下さい。車体が傾き、車両落下する可能性があり、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●ジャッキアップする車両の周囲に人や、他の車両や、物などがいないことを確認して下さい。万が一、作業中に車両が動いた場合、人や他の車両や物などに衝突する恐れがあり、大変危険です。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●ご使用の前に、必ず各車両指定のジャッキアップポイントをご確認ください。指定以外の位置で使用すると、車両側の破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。不明な場合は、ガソリンスタンド・カーディーラーなどでご確認ください。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●ジャッキアップする際に、ジャッキ本体が数センチ移動します。ジャッキが移動するのに、小石などの障害になるものがないことを確認して下さい。</p>
<p>❗ 警告</p>	<p>●ジャッキアップする際、強度不足の場所でジャッキアップすると、作業中にずれて車両落下し、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>

<p>警告</p>	<p>● ジャッキアップする際、必ずジャッキの受け皿の中心にジャッキアップポイントを合わせて下さい。作業中にずれて車両が落下し、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>注意</p>	<p>● 安全弁は絶対に回さないで下さい。工場での出荷時に、オーバー荷重を防ぐため、調整されています。</p>
<p>警告</p>	<p>● ジャッキアップの際、必ずジャッキスタンド(馬ジャッキ)をご使用ください。ジャッキは車両を上げるためのものです。ジャッキだけでご使用になりますと、一ヶ所に荷重が集中し、車両が落下する恐れがあり、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>注意</p>	<p>● ジャッキのハンドルは、必ず付属のものをご使用ください。本製品以外のものでご使用になると、正常にお使いいただけないと共に、ジャッキ本体の故障の原因となります。</p>
<p>警告</p>	<p>● ジャッキアップ中に、ジャッキの受け皿とジャッキアップポイントがずれる可能性があります。安全のため、作業の合間にずれがないかご確認ください。車両が落下した場合、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>警告</p>	<p>● ジャッキアップ中に、車両の下に頭を入れたり、体ごと入っての作業は絶対にしないでください。万が一、作業中に車両落下した場合、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>警告</p>	<p>● ジャッキのハンドルは、ジャッキアップ、ダウンの時以外は外してください。ハンドルを装着したままご使用になると、ハンドルが使用者以外の人や物に接触し、ジャッキアップポイントがずれたり、車両落下する恐れがあり、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>警告</p>	<p>● ジャッキアップした状態で、絶対に車両から離れないでください。使用者以外の人や物がジャッキや車両に触り、車両が落下する恐れがあります。ジャッキ車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。</p>
<p>警告</p>	<p>● ジャッキを下ろす際は、必ず、本製品付属のハンドルでリリースバルブをゆっくりと、反時計方向に回して下さい。急に回すと、車両の荷重で急激に車両が落下し、ジャッキや車両などの物的破損だけでなく、人命にかかわる事故の原因となる可能性があります。また、リリースバルブは3回転以上回さないで下さい。</p>
<p>注意</p>	<p>● ジャッキを下ろす際は、ジャッキのハンドル以外の場所に触れないで下さい。可動部などに触れたままジャッキを下ろすと、ケガの原因となります。</p>

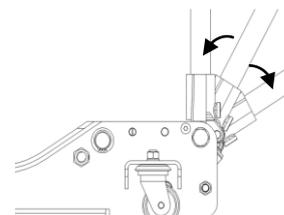
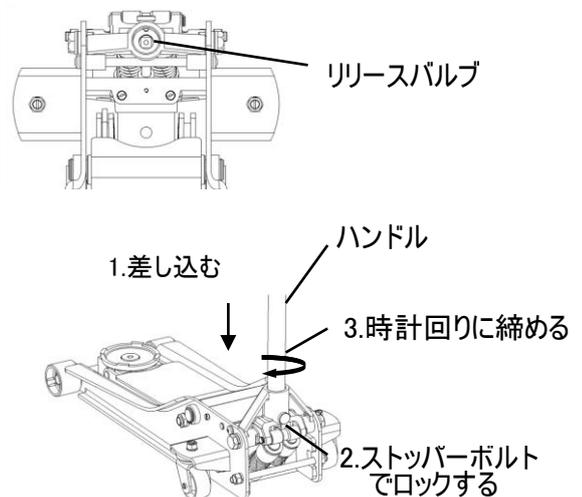
ご使用方法

1) ジャッキアップ

❗ 警告	<ul style="list-style-type: none">●本製品は、水平で硬い地面で使用して下さい。●ジャッキアップの際は、人の乗車が無い事を確実に確認し、ジャッキアップを行って下さい。●ジャッキアップする車両の周囲に、人や物、他の車両などが無いことを確認して下さい。●ご使用の前に、必ず各車両指定のジャッキポイントをご確認下さい。●ジャッキの受け皿の中心にジャッキポイントを合わせて下さい。●ジャッキアップの際は、必ずジャッキスタンド(馬ジャッキ)をご使用下さい。
---------	--

⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none">●安全弁は絶対に回さないで下さい。
---------	---

- ①ハンドル差し込み部を手でしっかり押し下げ、※梱包用ストッパーを外します。
※新品梱包時、ハンドル差し込み部は折りたたんだ状態になっており梱包用ストッパーで固定しております。
梱包用ストッパーを外す際、ハンドル差し込み部分が強く跳ね返り、非常に危険ですので十分に注意して下さい。
- ②ハンドルを連結します。(ピンを穴に入れ、抜けないことを確認して下さい。)
- ③ハンドルをハンドル差し込みに差し込みます。ストッパーボルトを緩め、奥まで差し込み、リリースバルブの凸部とハンドルの凹部をはめ合わせ、ストッパーボルトを締め付け固定して下さい。ハンドルが抜けないことを確認して下さい。
- ④正しいジャッキポイントの位置に受け皿を合わせて下さい。
- ⑤ジャッキアップする車体のタイヤをまっすぐにし、ジャッキも車体に対してまっすぐに設置して下さい。また車両のエンジンを必ず切り、ギアを「ロー」に(AT車は「P」に)入れて、パーキングブレーキをかけ車両が動かないよう、車輪止めをして下さい。
- ⑥ハンドルを時計方向に回し、リリースバルブをしっかりと締めて下さい。固くて回し難い時は、ハンドルを少し手前に傾けて回して下さい。締め付けが不十分の場合、ジャッキアップできない場合があります。
- ⑦ハンドル差し込み部にハンドルを差し込んだ状態で、上下に素早く動かしますと、リフティングアームが上がります。受け皿がジャッキポイントの近くまで上昇したら、一時中断し受け皿の中心をジャッキポイントに正確に合わせて下さい。
- ⑧受け皿の中心にジャッキポイントが合っていることを確認した後、再度ジャッキアップを再開します。リフティングアームが上がり、車両が上昇します。



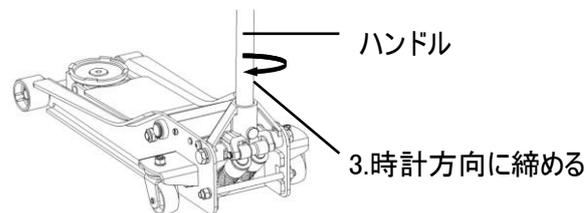
2) ジャッキダウン

警告	<ul style="list-style-type: none">●車両の周囲に人や、他の車両や物などが無いことを確認して下さい。●車両の下に人や物などが無いことを確認し、また、作業する人、ほかの人の体が車両に当たらないよう、十分注意して下さい。
----	---

① ハンドルをゆっくりと反時計方向に回して下さい。車両が降下します。

警告	<ul style="list-style-type: none">●リリースバルブを急に緩めると、車両の荷重で急激に車両が落下し、非常に危険です。●ジャッキダウンする時は、ジャッキのハンドル部以外の場所に触れないで下さい。●可動部には絶対に触れないでください。
----	---

② 作業後、受け皿を一番下まで下げ、ハンドルでリリースバルブを時計方向にしっかりと締め、保管して下さい。



3) メンテナンス・保管

① ジャッキのフロントローラーなどの可動部分は、定期的に潤滑油を差して下さい。

② ご使用後は、受け皿を一番低い位置に下げ、リリースバルブを時計方向にしっかりと締めて下さい。油圧ピストンが油圧シリンダー内に収納され、サビやキズからジャッキを守ります。

③ ジャッキオイルは油圧作動油 32 番を注入して下さい。

警告	<ul style="list-style-type: none">●ブレーキオイル、アルコール、グリセリン、洗浄用モーターオイルなど、用途の違うものの使用は避けて下さい。故障の原因となります。
----	---

④ 移動や保管の際は、必ず本体のキャスター・フロントローラーが地面と水平、もしくは接触している状態を保ってください。本体を立てて保管したり、横置きにしないで下さい。オイル漏れや故障の原因になります。

オイル補充方法



警告

●火気のある場所や、その近くでのオイル補充は、危険ですのでお止め下さい。



注意

●ブレーキオイル・アルコール・グリセリン・洗浄用モーターオイルなど、用途の違うものの使用はお避け下さい。故障の原因になります。

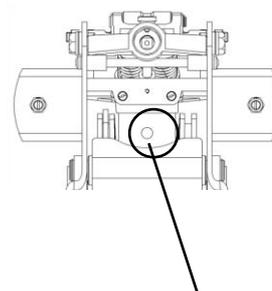
●オイルの補充の際に、ゴミやホコリなどの異物が入らない様に注意して下さい。

①受け皿を一番下まで下げ、水平な地面でオイル注入口を外してください。

②注入口から油圧用オイル(作動油 32 番)を少量ずつ注入してください。

③オイルの補充が終わりましたら、オイル注入口を元の状態に戻してください。

④オイルの補充後、エア抜きを行って下さい。



オイル注入口

エア抜き



注意

●リリースバルブを 3 回以上回しますと、オイル漏れや故障の原因となります。

①本体を水平な地面の上に置き、受け皿を一番下まで下げて下さい。

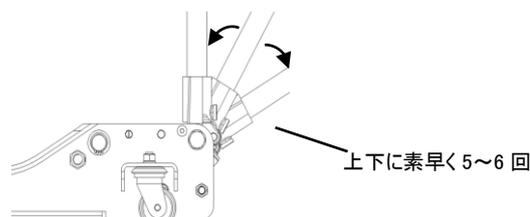
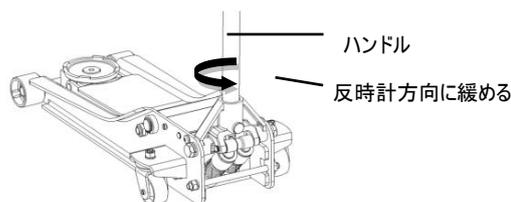
②リリースバルブにハンドルを差し込み、
反時計方向に 2~3 回転、緩めてください。

③オイル注入口を外してください。

④ハンドル差し込み部に、ハンドルを差し込み、
5~6 回、上下に素早く動かして下さい。

⑤オイル注入口を元の状態に戻してください。

⑥ハンドルでリリースバルブを時計方向にしっかりと締め付けて下さい。



※エア抜き作業後、正常に動作しない場合は、

①から⑤までの作業を 2~3 回繰り返した後、再度お試し下さい。

故障・異常の見分け方と処置方法

万が一、不具合が発生した場合は、下記に基づいて点検し、処置に困った場合や原因がはっきりしない時、処置をしても正常に作動しない時は、ご購入先の販売店または、発売元にご連絡ください。

状態	原因	対策
上がらない	1)リリースバルブがしっかり締まっていない。	リリースバルブを時計方向に回して、しっかりと締めて下さい。
	2)オイルレベルが低すぎる。	オイルを補充して下さい。
自然に下がる	1)リリースバルブがしっかり締まっていない。	リリースバルブを時計方向に回して、しっかりと締めて下さい。
	2)油圧系統にエアーやホコリが混入している。	エアー抜きを行って下さい。 バルブを洗浄して下さい。
最高位まで 上がらない	1)オイルレベルが低すぎる	オイルを補充して下さい。
	2)油圧系統にエアーやホコリが混入している。	エアー抜きを行って下さい。 バルブを洗浄して下さい。
最低位まで 下がりません	1)油圧系統にエアーやホコリが混入している。	エアー抜きを行って下さい。 バルブを洗浄して下さい。
	2)リターンズプリングが外れているか、老化している。	可動部に注油するか、スプリング交換を行ってください。
スムーズに 上がらない	1)油圧系統にエアーが混入している。	エアー抜きを行って下さい。